

さくらの便り

杉退教会報号外
2021.5.6
都教組杉並支部
杉退教 発行

順不同 敬称は省略させていただきます。

写真「鹿島槍ヶ岳の雪形」

元神明中学校 S 友夫

北アルプス、後立山連峰の名峰、鹿島槍ヶ岳をこの季節、麓の安曇野から撮影した写真です。雪形はどこに、なんの形に見えるか探してみてください。(回答は次ページに)



「和歌での近況と思い」

杉退教会長 元八成小学校 K 和彦

◆コロナ禍を詠む

- 外出は帽子・マフラー・手袋の各々三つを交互に使う
- 帰宅後は衣服着替えて手と顔と眼鏡を洗うマイルーティーン
- 我が家への出入りは常に足止めを食らう関所はまだまだ続く
- 高齢に加えて肺と心臓に病持つ身はかかれれば最期
- 「コロナにて貴方は死なぬ」のお墨付き

無き身はただただ恐れ籠もり居

- コロナ禍の体力維持と午前にはラジオ体操午後ウォーキング
- 国民に「気を緩めるな」と説きながら政府の対策緩んでいぬか
- 口元につしか付きし「飯粒「爺さん印」と妻が指差すじろし
- 発熱す妻の検査の結果待つ感染不安に脅ゆる一日
- コロナ禍に会いに行けない孫宛にひらがなのみの賀状を送る
- 回を追うごとにめきめき腕上げる自粛暮らしの妻の散髪
- コロナ禍の日課となれり遠方に独り暮らしの母への電話
- コロナ禍に人影まばら病院の窮状想い診察を待つ

- ・籠もり居にせめて旅行気分にと昼は京都の駅弁にする
- ・空仰ぎ「明けない夜はない」という村山ひで氏の言葉噛みしむ

◆ 春待 つ

- ・二組の目白の番白梅つがひに遊びて春の香り零るる
- ・ひび割れて凍てつく畑にホトケノザ

這いつくばりてじいつと春待つ

- ・故郷の月の明かりは里山も己の過去をも優しく包む
- ・如月の彼岸桜の枝先の二輪の春が余寒に揺るる
- ・家中で汗して桑を摘みし畑跡形も無し枯れ草揺るる
- ・冬枯れの葉を押しかけて湧き上がるほうれん草の青き命が

昭島市在住



絵は歌誌「托生」表紙から

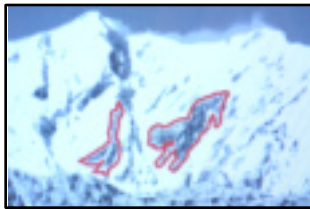
*皆さんからの報告などの表題は、編集係の方でつけたものです。

前ページ「鹿島槍ヶ岳の雪形」について

昔から里で暮らす人たちのとって、見上げる山の「雪形」は農作業を開始する目安にするなど、生活と深くかわってきました。春になって山の雪解けが進んでくると、あらわれた黒い岩肌の形や白い残雪の形を動物などに見立てて名前をつけてきました。分かりにくいものもたくさんありますが、毎年、同じ季節に、同じ形で出現する雪形は、麓で生活する人々にとっては、私たちが想像する以上に愛おしく見えるかもしれません。その証拠に、雪形が山の名前になっていることもあるのです。

- 北アルプスだけでも ①白馬岳(代かき馬) ②五竜岳(武田菱) ③爺ヶ岳(種まき爺さん) ④常念岳(常念坊) ⑤蝶ヶ岳(羽を広げた蝶) などなどたくさんあります。

ところで、鹿島槍ヶ岳の雪形の正体は・・・「鶴と獅子」でした。



そう言われてみればね?…長野県人になった気持ちでもう一度前ページの写真を見てみましょう。了解いただけましたか。

(T)

「できる」を見つけていこう」

元井荻小学校 S 佑子

教員時代から地域で続けてきた、お話しボランティア。子どもたちに昔話や物語の楽しさを届けたいと30年以上続けてきましたが、コロナ禍で中止になって一年余り…。このままやめるわけにはいかないと、先日は市の主催でオンラインで実施しました。ZOOMの画面の向こうの聞き手に届くよう、思いをこめて絵本を読み、たくさん笑顔に出会えました。

こんな状況がまだしばらくつづくとしたら、そんな中でもできることを見つけていこう！と元気がわきました。

武蔵野市在住

「今、自分にできることは…」

元天沼小学校 K 春美

昨年の春休み前にコロナウイルス感染者が全国的に広がり、学校は一斉休校となった。まさか学校が長い間休みに。四月からどの子も進級することに夢を膨らませていたのに…。

自粛で感染を怖がってもいられないので、自分にできることは何かを考えた。孫が同じ区内に住んでいるので、多分日中は預かることになる、どう過ごさせたらよいだろうか？

ちやうど孫は三年生になり、新しく習字とリコーダー(たて笛)が

始まる。基本を教えようと考えて息子夫婦にやってよいか聞いてみた。即「お願いします。」との返事。

四月になりいよいよ預かり開始。学校からのテキスト、昼食づくり、習字、リコーダーをはじめ、公園に行つて遊んだり、ゲームをしたりテレビを見たり、その他いろいろとやり始めた。

習字は若い頃、夫の知り合いの元校長先生から書写指導をしていただいたので、その時の資料を整理し、習字の基本をビデオで見たリ、資料から毛筆の扱い方の練習をしたりした。そして、昔息子にバイオリンを教えていただいた先生が、ちやうどその頃リコーダーを私に指導してくださった。当時練習した楽譜を大切ににとってあったので、もう一度復習を始めた。とにかく孫にとって初めて取り組む教材なので「楽しく」をモットーに取り組んだ。

六月の中頃から学校が再開され、孫は元気に登校していった。その時は、嬉しいやら、ちよつぱり寂しいやら…。

年が明けてお正月恒例の書初めでは、なんと連合作品展に選ばれ、孫も家族も大喜び。

孫と作る昼食ではハヤシライス、ふわふわオムレツ、親子丼、チンジャオロースなど、一緒に作れる料理レピシが多くなった。リコーダーも家に来るとすぐに吹き始める姿を見て、休校中、我が家で教えてやってよかったなあと思つづく思つた。それと、何より嬉しいことは、私自身がお世話になったお二人の先生か



らいただいた貴重な宝物で、先生を思い出しながら、いまだに習字とリコーダーを続けていることだ。ピーピーと毎日リコーダーを鳴らして、夫にはうるさくて申し訳ないが、ボケ防止ということで我慢してもらっている。

コロナ禍の最中、三密対策を考えながら、今だからこそ自分できてることをやる事ができて、ありがたいなあと思っている今日の頃である。

中野区在住

「皆様のたより・楽しみ……」

元松庵小学校 N 律子

昨年十二月に、新聞でKさんの短歌とTさんの川柳を見つけ、ビックリ！それ以来、読者の文芸欄を楽しみに見えています。「さくら会たより」で津田青楓のことを知り、笛吹市の青楓美術館に行つてみたくなりました。そして、多方面でご活躍の皆様のたよりに感じています。

練馬区在住

* 見つけてくださりありがとうございます。

また、見つけてくださいね。投稿がんばります。K・T

「ちよつこのことばでも……」

元杉並第三小学校

I 輝美

今までの当たり前が、当たり前でなくなつてから、一年以上が経つ。そんな中でも学校は日々の営みを続けているわけで……現場はさぞかし大変なことだろうと、アレコレ想像してみるけど、その域をはるかにはみ出した忙しさなのでしょう。先生方、どうぞ、健康には留意してと、心から祈っています。

さて、この頃、外に出ることが減つたからか、テレビに向かって文句たらたら言っている自分に苦笑。

東日本大震災から十年がたつのにまだに復興したとは言えない現状。福島原発も課題満載ゆえ、遅々として進まない後始末。なのに、あちこちの原発を再稼働しようとしている？！冗談じゃない！！『モリ・カケ・桜』が明らかにされないまま舞台が変わり、菅政権になつて次々と出てくる様々な問題点。やれやれ、『アベ政治を許さない』に『スガ』の言葉が付け加わり、ちつとも変わりやしない！！

二度の急事態宣言が発令されても新型コロナウイルスの勢いは止まらず、政府の無能さをあざ笑うかのように変異株を次々と生み出して猛威をふるっている。医療従事者の方々の賢明な努力でやっと保っているギリギリのところなのに、官僚から率先して浅はかな言動。ほんとに何を考えているんだ！！

腹を立てるとストレスたまるし免疫力が落ちるし……。「あー、やめたやめた。」と言いたいけど……(笑)

外出が窮屈になった分、自転車でウロウロすることが多くなった。急ぐことではないのでゆっくり走らせ周りをキョロキョロ。すると、気が付く、見つかる、ちよつとしたこと。人様のお庭をのぞかせてもらって季節の花たちの移り変わりを楽しむのはもちろん、おもしろい出会いもある。

先日はチョット感動した。ある庭のあちこちの植木にミカンが半分、枝に突き刺してある。なんで？とのぞいていたら、庭に家人が出てきて、枝に括り付けてある台に何か乗せた。思わず話しかけたら「寝たきりの夫が鳥の鳴き声を聞くのが好きなの。バードウォッチングが趣味だったので。」と言う。なんか、ほんわかかな気持ちになった。コロナ禍でなかったらこの辺を走ることは絶対に無いので、野鳥の声を楽しむこの夫婦のことは知らないままだ。この出会いにありがとうだな。

で、この頃、ちよつとした何気ない『良かった』に、心を寄せて感謝しようって思うようにした。そして、良い方向に考えるようにしようとも。できなくなつて、手に入らなくなつて、『あの時は良かった』って思うのなら、その時に『良かった。ありがとう』って思った方が、その時間をより輝かせて過ごせるもんね。

昨日のお花見はシートを敷かず、ウォーキング花見。お天気に恵まれて、友だちと元気に会えたことが嬉しい。もうそれだけで満足。

そう、最近、満足度や感謝指数のハードルの低



いこと!!(笑) 来年のこの頃には、世の中どうなっているでしょう。ちよつとでもいいので好転していますように!!

杉並区在住

「東日本大震災十年と若い人たちへの期待」

元富士見ヶ丘小学校 K このみ

コロナ禍も長くなり、あらためて、政府の無策を嘆きたくありません。モリ・カケもサクラもうやむやのまま、不正も次つぎに発覚して、いい加減にしろよ!と叫びたくありませんね。昔も加藤も、TV画面に出てくるだけで、もう、うんざりです。

東日本大震災から早くも十年、「復興五輪」なんてタイトルだけです。今回10周年の特集記事を新聞・TVで見ている、若い人たちの活動に期待が持てる気がしました。政治のみならず、教育の分野でも、若い人たちの力に期待したいです。

武蔵野市在住

「アナログ人間」だから願うのです

元八成小学校 M 直美

この一年、コロナのために一変しました。

コロナ禍で、いろいろ考えることが多かったです。

強く感じたことは「だれかとながっていること」が大事だということ。メールやラインや手紙などを通して仲間からたくさん元気をもらいました。とても感謝しています。でも、私はアナログ人間なので、顔を合わせて、笑ったり、おしゃべりするのがやっぱりいいな。こんな日がくることを願っています。

武蔵野市在住

「ガーベラを思え」

元大宮小学校 K 久枝

杉退教たより一月号に池田茂都枝さんが書いていた「ベルリン三部作」：私も、何度も本を閉じ、夜は眠れなくなるので読まず：一ヶ月かけて読みました。1945年にある占領軍の様子は、日本の戦後を思い出させました。ナチ政権下でナチ党員だったものが、戦後は寝返って密告者になり……。

一昨年訪れたベルリンで見学したゲシュタポ本部跡(現在、博物館)に立ったときのことを思い出します。今日、元中央大学教授の横湯園子さんから、小説「ガーベラを思え」が送られてきました。彼女の母が治安維持法下で逮捕・拷問されたフラッシュバックでいまわの際まで苦しんだことを題材にし、小説にしたものです。ぜひお読みください。(三月七日記)

杉並区在住



※「ガーベラを思え」

〜治安維持法時代の記憶〜

横湯園子著 花伝社

1500+税

「ベルリンへ行くこう!」

元大宮中学校 I 茂都枝

コルドン三部作『ベルリン』の掲載ありがとうございます。岩波少年文庫の表紙の紹介や内容の紹介でわかりやすくして下さい、感謝しています。

コルドンに会いに行き、ブックトーク「コルドン」の友人であるHさんからすぐ電話が入り、コロナがおさまり次第「ベルリンへ行くこう!」と話がもり上がりました。「来年十月頃には行きたいわね。二人でも行こう!」と意気盛んです。後期高齢者の二人ですが……。

小平市在住



「紙芝居ボランティア」

元杉並第六小学校 T 鏡子

杉並区立中央図書館がリニューアルしました。家から近いので、ほぼ毎日、図書館に通っています。絵本が好きなので、色々借りて家で音読して楽しんでいます。

コロナ禍で中断していますが近くの老人ホームで紙芝居を読んでいます。図書館には、沢山の紙芝居があり、借りられます。

杉並区在住

「笑いを武器に コロナと闘う」

元東田小学校 S 喜代子

去年、搬入直前になって中止となった「アンデパンダン展」。今年は今期中の催しなしで実施となり、いま制作の大詰めです。乃木坂の国立新美術館で3月18日（木）〜29日です。コロナでまだ油断なりません。今年度は各団体もそろそろ様子を見ながら美術展をやると思うので、怠けていられない。＼生きていく証し＼



アンデパンダン作品

として、なんとか形にしなくては、という思いです。

さて、コロナで、近所の友人が亡くなったのです。ショック大きく、まだ落ち着けない日々です。昨年大みそかに友人同居の長男が感染。自宅療養となり、年明けて1月13日に両親が感染し入院となりました。10日経て、夫は退院したのですが、妻の方はなんと、人工呼吸器の身となっていました。そして2月初旬、コロナが治り、一般病棟に移りました。私も、夢かとばかり嬉しく、小躍りしたのも束の間、肺炎で亡くなったのです。つまりコロナは治った？ので、集中治療室から追い出された結果です。コロナのむごさが身に沁みしました。80代半ばの夫婦の病気の軽重の差は何か…。原因の一つは、性格の明・暗があるのではと考えます。夫は明るく、妻は生真面目。皆さん、こんな時代だからこそ笑いましょう。＼笑う門には福来る＼。

口角を上げていると、心が晴れてきます。笑いを武器にしてコロナをやっつけようではありませんか！

杉並区在住

*上の絵は、アンデパンダン展に杉山さんが出品した油絵です。「緑色のセーターのK」「杉退教紙上ギャラリー」にカラーで掲載し、7月にお届けします。

T

「足元にも、大木の梢にも春の営みが…」

元浜田山小学校 H さち子

コロナ禍の中、相変わらず玉川上水沿いの散歩が日課です。植物や昆虫、鳥などなど、自然の変化には驚くほどで、毎日歩いていても飽きることはありません。三月に入り、ウグイスカグラの小さい紅色の花が咲いていたとおもったら、一週間後には、ヒサカキの白い小さな花が、緑の葉にかくれるように咲いていました。川の中には、ゴイサギが小魚をついばんでいます。足元では、ヨモギ・ノカンゾウ・ヤブカンゾウなどなど、摘み草にちようどよいほどに伸びています。先日はクビジンまで出没する始末。これからはケヤキやクヌギなどの大木の新緑の下を、一リンソウや二リンソウの白い花を楽しみながら歩くのも待ち遠しいです。

3月9日

小平市在住



「はやく野党連合政権を」

元沓掛小学校 K 正幸

コロナ、コロナで一年。あと何か月…いや、何年続くやら。それまでにどれだけの死者が出るか、どれだけの人の人生が失われるか。胸がいたみます。

それにしても政府の無能なこと。はやく野党連合政権を実現で人々をすくいたい。

次から次へと政権内部のスキヤンダル。もう末期状態。生きている間に光明が見えてくるかなあ。

杉並区在住

「3・1ビギニデーに…」

元済美小学校 T 恵子

3・1ビギニデーにオンラインで参加しました。2日間も見られるかなと思っていました。映像でビギニデーの歴史を振り返ったり、歌声やピアノ演奏が入っていて、楽しく見ることができました。海外からの報告、署名活動の全国交流、中満泉さんの話に感動し、元気をもらいました。マーシャル島民の姿やエニウエツトク環礁のドームを目の前で見ることができ、また、第五福竜丸から館長さんのメッセージが寄せられるなど、オンラインならではのことと思えました。でもやはり、来年は静岡・焼津へ行き墓前祭に参加したいと思っています。



中野区在住

「短歌」Ⅱ 介護つき老人ホームにて Ⅱ

元杉並第三小学校 S 美恵子 九十八歳

檜風呂に柚子の香りのただよいて

ほつと憩いし冬至の夕ぐれ

節分会 赤鬼青鬼に扮装せる

介護人めがけ豆のみだれとぶ

珍しく東京の街に雪ふりぬ

雪やコンコンもつと降れ降れ

こうこうとまんまる名月輝きて

ホームの窓に老人ら集いぬ

「つくしんぼ会」毎年集まるクラス会

むかしの一年坊主ら集いくるなり

ふるえる手に割り箸にぎりかゆすする

ホームの食堂あたたかきムード

年賀状百枚出して八十枚受く

現況交換のよき行事なり

杉並区在住

*力強い和歌の数々。ありがとうございます。ございました。



「長引くコロナの影響」

元済美養護学校 K あい子

すつかり長引くコロナの影響か(?)心身共にバランスを欠いたよう
で、少々体調を崩したりしました。この春になんとかもどしてい
たと願うばかりです。コロナ後・・・と考えていたのですが、やはり
コロナと共に生活をつくる!!ということをあたり前ですがせねばな
りませんねー。今頃気がついてアタフタしています。

渋谷区在住

「早く皆さんにお会いできるように」

元堀之内小学校 K 文子

一年前、入会したもののまだ皆さんとお会い
したり出かけたりすることなく一年が過ぎてし
ました。お便りでの皆さんの活動や思いに
力をいただいています。早く皆さんにお会いでき
るようにと、つくづく思っています。

杉並区在住



「過信は禁物・・・」

元杉並第七小学校 H 由美

ほんのささいなことで右肩の腱板が断裂し、初めての手術、入院を経験しました。整形外科病棟に24日間入院し（一月末～二月）、三月から仕事に復帰しました。

入院して感動したのは、病院にはいろいろな役割で医療が分担されていて、患者主体が徹底されていたことです。本当に手取り足取り、かゆいところに手が届く看護で、感謝するばかりでした。

① 医師へ何でも質問してください。どんどん聞いて下さい。・・・というステッカーまで貼ってあります。

② 病院食も手作りで温かくおいしく工夫されて、とてもおいしい。予想外でうれしいこと!! 右手が使えないので、特別に小さなおにぎりにして毎食出して下さいました。

③ 看護師さんは、もちろん、いつでも声をかけて下さい。どんなことでもいいですよ。遠慮しないでね”と、安心感を与えて下さいました。

④ 看護助手さん。ケアエイトと呼ばれている方。髪の毛を洗ってくださったり、シャワーと一緒に体を洗ってくださったり。ヨーグルト、ストロー、ジャムの袋、パンの袋などの開封は、片手だけでは全くできず、全てやって下さいました。

その他、大勢のスタッフで温かく支えて頂き”三食介護昼寝付き、快適ライフ”と名付けて、快適入院生活をおくることができました

た。

そこで思ったのです。学校というところは、先生一人がやる仕事があまりにも多いこと。病院のようにいろいろなスタッフが分担して、みんなで子どもの成長に関わり、支えていくというシステムにならないものか。

これから税金をどのように使うかを真剣に考え、社会の在り方を根本的に、私たち自身が考え、つくり出さなければいけないと思います。

入院中は、いままで読めなかった本をたくさん読むことができました。コロナで面会禁止の措置が、ゆっくり安心して入院できることとなりました。

退院しても、右肩、右腕が少ししか動かないので、全て家族に支えてもらっています。改めて、夫の力の大きさに頭が下がります。夫が「忘れないでください」なんて言っています。（笑）

”七十歳を過ぎると病気になるったり怪我をしたりしますよ”言われていたことが本当になり、過信は禁物です。

四月から、済美教育センターで仕事を続けます。月12日の勤務となりましたが、少しずつ減らして完全退職へ。

会計年度は任用職員になって今までなかった通勤手当とボーナス休暇がでるようになって、喜んでいきます。

長くなつてごめんなさい。今後もお便り待っています。

小平市在住



「今年も花だよりの季節に…」

元向陽中学校 M 美那子

五島美術館の見学に毎月行って考古学や古代文学（亀甲文字）、日本文化史（二月は秀吉の茶の湯・三月はかな文学）など、世界（ペキン・タイ・ペイ・トルコ方面と…現地と同じ文物）や日本の宝物見学をしています。

（追伸）コロナのことで思考停止状態ですが、とうとう花だよりの季節に入りました。今年もいろいろとお世話になります。支部の皆様方によりしくお伝えください。

三月八日 世田谷区在住



「晴耕雨読&出稼ぎ？」

元西宮中学校 W 公平

いつも連絡いただければ済みません。晴耕雨読というわけではありませんが、まだ畑仕事と街への「出稼ぎ」に奔走しております。

我が家から、裏の溪谷を40分ほど歩いたところにこの滝があります。コロナ以降、人ごみがすごくなりました。

多摩町在住

*東京文化財ウオーク・教育庁発行の絵ハガキを同封していただきました。都指定名勝―梅沢四滝―の一つ「三ッ釜の滝」です。ありがとうございました。



「友人に感謝の日々」

元荻窪小学校 T さと

一年前から、友人の眼科医院でアルバイトをしています。感染症対策の消毒、掃除のおばさんです。プラス検査のお手伝い、カルテの用意など雑用をしています。

引きこもり状態から、外に出してくれた友人に感謝しながら生

活をしています。

東村山市在住

育むかを知らされることも多々あります。引き続き、ボチボチ（年齢と相談しながら）活動したいと思っています。

東久留米市在住

「通勤電車に乗って元気に」

元和田中学校 I 厚子

1月20日から3月24日まで、阿佐谷中の栄養士として勤務しています。区費の栄養士の産休代替です。4月からは別の栄養士が配属になると思われます。

コロナ禍の中、通勤電車に乗って、元気に仕事をしております。4月からはゆつくりするつもりです。

板橋区在住

「スプーン人形」

元桃井第二小学校 M 彩子

私は桃二小を退職した後、大学院に入りそこで非常勤講師を始めました。現在は保育者の養成にかかわっています。

コロナ禍は本当に大学生たちには厳しくつらい日々でした。パソコンに向き合う日々はその人たちを支える大人たちにも苦行を強いていたと思います。私も4月から7月の間は毎夜1時2時に入ってくるレポートに対応する日々でした。しかしやり取りは楽しいものでもありました。

9月からは学生たちのモチベーションが下がるのがわかりました。しかしその一方で杉並時代の10年前の教え子が成長して大学生になり、「対面で授

「文化・芸術の大切さを知らされる日々」

元桃井第三小学校 O 花子

いつもお世話になっております。

コロナ禍、健康第一に…と自分に言い聞かせつつ、何ができるか？何をすべきか？を考え続け、実行しています。

（社団法人）日本演劇教育連盟での活動が続けていますが、不要不急に追いやられそうな演劇・演劇教育では生活すら心配となる関係者が増えています。一方で、文化・芸術が、いかに豊かな心を



業が受けたい」と仲間を募って小規模に無許可の中で対面授業を実現させたりしました。また他学科の学生に頼み込んで何とか、つてのある学生に働きかけて期限の大幅に過ぎた課題に向き合わせることに成功したりしました。彼らの大きなモチベーションは「人のために働きたい」というおもいでした。私はこういう若者が世の中を自分たちの力で変えていくのだと信じています。

今年3月で退官される方からスプーン人形を教わりました。木製のスプーンを使って人形を作り、菓子箱やテーブルの上で歌いながら遊ぶものです。

保育者になった学生が実習先で自分のクラスの子どもに見せるとすぐに打ち解けて心通わせることができますといいます。私はもっぱら自分の孫にやって見せて反応を確かめています。4月からは新たな出会いのある学生たちにこれを教えていこうと考えています。

杉並区在住



「子ども被ばく裁判の判決に思う」

元済美養護学校 H 百合香

先日「子ども被ばく裁判」の判決が福島地裁でありました。この裁判は福島の子どもが「被ばくの心配なく教育を受ける権利」と「無用な被ばくをさせられた責任」を追究するものです。事故直後、福島で学校が再開するなんて信じられない思いでした。20ミリシーベルトはひどすぎる、と内閣参与が辞めましたよね。(この人、原子力ムラの人のようですがそういう人ですらひどいと感じた被曝基準、福島だけに適用され現在に至っています)

当時、県アドバイザーとして「ニコニコしている人に放射能は来ない。マスクも必要ない」と言っただけの子どもを被曝させた山下俊一を法廷に引っぱり出したほか、親の苦しい想いや、科学的・法律的な問題の指摘など、裁判は6年半かかりました。原告が取り上げた数々の論点は、今、改悪されようとしている全人類の被曝基準へとつながるものです。だからこそ、でしょうが原告の主張は全く認められませんでした。(司法の独立は?) 「被ばくの心配なく教育を受ける権利」なんて悲しすぎます。原告は、仙台高裁へ控訴したそうです。



【お薦めの一冊】

・近頃空が騒がしくて不安になりますが、御巢鷹山の墜落事故を追求める本を読み衝撃を受けました。(日航123便墜落圧力隔壁説をくつがえす) 著者は元日航スチュワーデスの青山透子さんで同僚、先輩を失っています。昨年出版されたのは5冊目だと初めて知り、前の4冊も読みました。事故ではなく事件だと論証していく筋道が確かで、導かれる結論が恐ろしいです。

杉並区在住

「国分寺市民になって」

元杉並第八小学校 N 洋子

荻窪から国分寺に移ってまる8年経ちました。

新居のマンションは北側と西側が都立武蔵国分寺公園、南側が聖武天皇が指定した武蔵国分寺に隣接した景勝地で、毎日の散歩を楽しんでいます。

公園はハクモクレンが散り、コブシとシデコブシが満開、ソメイヨシノとハナノキが咲き始めました。次々に花が咲く樹木との出会いも楽しいですが公園で



は造園家、養蜂家、作家さんたちとの新しい出会いもあり楽しんでいます。

また、国分寺市役所ではコロナの緊急事態宣言下にも拘わらず、それ以前からの企画どおり 1月27日から30日まで、写真展『ベトナムの自然を守る』を開催してくださいました。そんな毎日で退職後を楽しく忙しく過ごしています。

また、いつものようにさくららの会の皆様にお会いできる日が早く来るようにと願っています。

どうか皆様お元気で過ごしてくださいませ。

(三月[㊥]二十三日)

国分寺市在住

「いま、子どもたちと教職員の課題は・・・」

元桃井第一小学校 K 裕子

退職して、都教組杉並支部のボランティア書記をして6年になりました。この間、学校はますます忙しくなり、息苦しくなったように思います。少しでも働きやすい職場になってほしい！病気になるらずに働いてほしい！という思いで、日々過ごしています。(個人的にも、娘が他区の教員で、本当に理不尽な働き方をさせられているので、夕食づくりなどで支えながら、「長時間労働」や「息苦しさ」は何とかならないか！と悶々としているのです。)

毎週火曜日の役員会も、執行委員会を隔週にしたり、女性部と

の合同会議をしたりしながら、情報交換の場を作り交流してきます。この時間が、私やMさんにとって、学校の状況を知る貴重な場になります。

以下、この一年の学校の様子と

組合としての取り組みを紹介します。

昨年2月末の「安倍前首相による突然の一斉休校宣言」に始まり、コロナ対応に振り回された一年でした。3月2日から春休みまでと言いながら、結局は5月いっぱいの一斉休校。子どもたちはもちろん、仕事に行けなくなってしまう保護者、牛乳や野菜などの処分に困り果てた給食の食材納入業者など、その間の混乱は、皆さんご存知の通りです。

改めて、「学校は、学習の場だけでなく、安全な居場所であり、友だちとの交流を通して育ちあう場であり、給食という食を保障してくれる場所であった。」と確認できました。

6月からは、分散登校を経て、通常の学習が始まりましたが、消毒作業や検温、密にならないための様々な工夫が必要でした。また、通常の授業の準備のほか、オンラインの教材作成など、いつもにも増して忙しい日々が続き、過労と気遣いから病気休職に追い込まれた人が多くいたことが残念でなりません。

コロナ禍でソーシャルディスタンスが叫ばれる中で、私たちは20人学級の実現を目標に掲げました。40人も子どもたちが8m×8mの教室に押し込められて、長時間過ごすのは大変です。また、分散

登校で15人ぐらいの子どもたちとの授業をしてみても、改めて少人数の良さを感じたと多くの教職員が語っています。不登校の子が登校できるようになった例も多くみられました。

教育学者たちによるネット署名や、校長会、全国知事会などの大きな運動の渦の中で、やっと「35人学級」が実現することになったことは、本当にうれしいことです。残念なのは、中学・高校が外されたことです。

今年度は、オンライン学習用にタブレットの収納棚が教室内に置かれることになり、中学の教室はさらに狭くなりました。

また、35人学級も5年かけての実現というスピードのなさや、「35人」は、欧米各国と比べてもまだまだ多いし、ソーシャルディスタンスの面からも不十分です。引き続き声を上げていきたいと思えます。

もう一つの課題は、働き方改革と称して「年単位の変形労働制」が持ち込まれようとしていることです。教職員の長時間労働については、マスクでも取り上げられていますが、この「年単位の変形労働制」は、一日9時間労働を可能にするものです。暇なときに振り替えて休めばいいというのですが、そもそも、今の学校に



は、夏休みも含め暇な時期がないのです。

残業代もなく青天井で働いている教職員をさらに働かせ、過労死に追い込むものです。さらにこの制度が、ほかの職種へ拡大したら大変なことになります。今後、それぞれの自治体ごとに、条例作成などの議案が出てくる可能性があります。闘いはこれからも続きます。

調布市元町在住

【編集後記】

皆さんからたくさんの近況報告やエッセイ、短歌など寄せていただきました。ありがとうございます。

お便りの文章をパソコンに打ち込んだり、メールでいただいた文章をこのPAGEに流し込んだり、時間はかかりましたが、皆さんの心意気に触れながらの作業で、時間が経つのも忘れるほどでした。

問題は、ワープロ変換でよく間違える文字違いです。昨年は、安倍を阿倍と誤

記、ご迷惑をかけました。

今年もどこかにミスが隠れていると思います。その節にはどうぞご指摘の上、ご容赦ください。

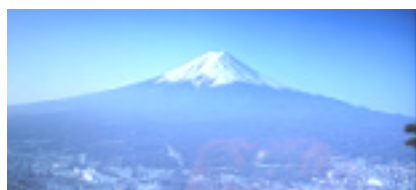
K会長の短歌はさすがです。新聞紙上の文芸欄でお見受けします。小生のお粗末川柳も、たまに載ることもありませう。嬉しいものです。

短歌といえば、9ページのSさんの作品には驚きました。98歳にしてこの力強い表現力。多分80歳に手が届きそうな教え子たちを「一年坊主ら集いぬ」。クラス

※都教組杉並支部のホームページ、ぜひご覧ください。杉退教のページもあります。トップ画面の写真はよく入れ替わります。

(今日は何かな?)

都教組杉並FC2 で変換



会のギネスブックですね。私たちの大先輩にSさんのような方がいらつしやることに誇りを感じるのには私ばかりではないと思います。

ところで、私の近況。腰や背中が曲がってきました。耳が遠くなつて、みなさん笑っていても、何で笑っているのか分からないときがあります。

マスクして入れ歯入れずにお出かけし

元高井戸東小学校 T 堆芳

杉並区在住